



週1回の街頭演説は、今後も回数を増やしながら続けていきます。沿道の皆さんの熱い応援が有り難いですね。



神戸や新潟の地震では多くの障害を持つ仲間や高齢の皆さんが被災。災害時要援護者への取組みが広がりました。



●川辺川現地調査

利水訴訟団の事務所でお話を聞く。ダムによらない治水の可能性を確認しました。



新幹線の新駅が出来る前に、バリアフリーのアドバイスや現地調査に参加。もちろん新熊本駅でも障害を持つ仲間たちと提言します!



人吉市 中川原で河床掘削を視察。河川改修などを丁寧にやっておけば川辺川ダムなど要りません。

2003-2006

# 市民の声を 県政につなぐ

この4年間、市民の皆さんとの直接対話を基本に、県政の在り方を問い続けてまいりました。川辺川問題、交通問題、介護保険、教育問題、障害者自立支援法からイラクへの自衛隊派遣など平和の問題等々です。国の政策は日本を格差社会に向かわせ、県民の願いとは必ずしも一致してきませんでした。今こそ、地方の視点・生活者の視点で、平野みどりと共に、「つなぐ会」と共に、政治の場に声を届けてまいりましょう。

平野みどり

## 平野みどりと暮らしを政治につなぐ会

会長 河野 恭子  
紙面には収まりきれない程の平野県議の四年間の活躍でした。強者の論理が大勢をしめる県政にあって、弱者の視点がぶれない「みどりさん」は私たちの一筋の光です。そして、その光のバッテリーは私たち一人ひとりなのです。2007年4月8日の大集結にむけ、つなぐ手をふやして行きましょう。

〈役員・スタッフ〉

副会長：俵 恭子 原 育美 東 俊裕  
森川 公子 吉住 眞 吉田 雅広  
事務局長：川本 正道  
スタッフ：今泉 克己 前田 優子  
宮坂 敦 山下 紘史 (五十音順)



国連での障害者権利条約のNGOシンポジウムで日本の現状を報告。この条約は12月13日に国連で採択されました。今こそ条約に添った国内法の改正と新たな立法が必要です。



熊本市長選では、城山校区でも個人演説会を開きました。そして幸山市長の2期目が実現!課題解決のため、熊本市と熊本県の連携はますます重要です。



日本国憲法草案作成者のお一人、ベアテ・シロタ・ゴードンさん。彼女こそが、男女平等の考え方を憲法に盛り込んだ人でした。(産業文化会館にて)



恒例の事務所での餅つき。平野議員も杵つきに挑戦!文化や習わしを次の世代へと伝えたいものです。

## ●実現したこと

- 障害を持つ生徒や中国等帰国生徒や外国人生徒への高校入試における配慮について
  - 代筆受験(筆記ができない生徒への配慮)他
  - 受験科目の配慮、時間延長、他
- 投票所のバリアフリー化の推進
- 重症心身障害児・者のB型通園事業(再春荘病院内なかよし学級)
- 県出資団体への天下り人事
  - まだまだありますが見直しが進んでいます。
- 入札資格における男女共同参画、障害者雇用、環境推進状況等の点数化
- スクール・セクシュアル・ハラスメントの防止ガイドラインの作成
- DV(ドメスティック・バイオレンス)防止への取組み(民間シェルターへの委託開始)
- 35人学級の小学2年次への導入
- アスベスト問題での相談窓口の一本化
- 女性管理職登用の推進(男女共同参画・パートナーシップ推進課長ポスト他)
  - しかし、まだ全国ワースト3位(平成18年4月)
- 在宅重症心身障害児(者)デイケア「なかよし広場」の開設
- 平野みどり議員の挙手採決が起立採決と同等に認められた

## ●何度も重ねて質問してきた課題

大切な課題です。実現に向け更にがんばります。

- 川辺川ダム問題(ダムによらない治水、利水を!)
- 障害を持つ子どもも地域の学校で共に学ぶインクルーシブな教育環境を(盲・ろう・養護学校との連携の中で)
- 職員への口利きの文書化と情報公開の要綱を
- 児童虐待防止、DV防止への更なる取組みを
- 高齢者福祉、障害者福祉問題について
- 男女共同参画に関する問題について(子育て支援、他)
- 都市圏の公共交通の抜本整備を(自家用車からバスや市電へ)
- ハンセン病、水俣病等人権啓発の取組み強化を



議会で論議してもらいたい課題をお持ちの方は、ご遠慮なくご連絡下さい。